

「名古屋文理大学紀要」創刊号の発刊によせて

学長 瀧川直昭

平成13年は、学園創立45周年にあたります。

本誌は、昭和49年に名古屋文理短期大学の教職員によって「生活科学ノート」として創刊され、昭和51年には誌名を現在の「紀要」に改め、今日に至るまで教職員の研究成果を間断なく集録し、年毎に拡充して刊行されてきました。このたび名古屋文理大学開学3周年を迎え、従来の「名古屋文理短期大学紀要」から独立して「名古屋文理大学紀要」創刊号が発刊されましたことは、まことにご同慶にたえないところであります。

最近の科学と技術の進歩はまことに飛躍的であります。本学では急速に発展する情報化時代に対処するため名古屋文理短期大学の情報処理学科・経営学科を改組転換し、名古屋文理大学情報文化学部（情報文化学科・社会情報学科）の開学に踏み切ったところであります。

高等教育の使命は新世紀を構築する高度な学識と豊かな知性をもつ人材を世に送り出すところにあり、このことは、人類社会にとっても、極めて重大であります。

本学としましては、この発刊を契機として、教職員一同なお一層研鑽に励み、研究活動をより優れたレベルに高め、その成果を社会に積極的に問いつつ、全学をあげて大学に課せられた責務を果たしていく決意であります。

各位のご鞭撻を乞う次第であります。